

私も社員もHAPPYに！ 五感を使って道を切り拓く。

👑 ひめボス準グランプリ

File 03	株式会社 エルパティオ
ひめボス 役職/氏名	代表取締役社長 川崎 暁子
<p>平成19年、「ママがHappyなら赤ちゃんもHappy」をコンセプトに、ベビーマッサージ教室から事業をスタート。妊娠・出産・子育て・介護と変化する女性のライフワークに寄り添える場所と仕組み創りを目的に、女性の多様な働き方とそれに準じる保育を実現化すべく奔走中。</p> <p>企業情報 住所/松山市北土居3-2-25 TEL/089-907-2488 FAX/089-956-3325 業種/保育・サービス 従業員数/27名</p>	

〇〇 CheckPoint

- 1 十人十色の雇用契約書を締結
希望の働き方に合わせ、何度でも面談を行う
- 2 柔軟な人事制度を適用
雇用形態に関係なく、能力と素質で人員配置
- 3 シフトはオーダーメイドで作成
家族の時間に合わせて10通りのシフト



「ごちゃませ福祉」で みんなの幸せを実現する。

👑 ひめボス地域活性化賞

File 02	社会福祉法人 松山紅梅会
ひめボス 役職/氏名	高齢者総合福祉施設 梅本の里 事務局長 渡部 誠
<p>屋外広告会社、松山市臨時職員を経て、平成7年に梅本の里に入職。事務主任、事務長を歴任し、令和元年6月に事務局長に就任、理事者としても経営に責任を持つ。様々な地域貢献事業に取り組み、法人理念の実現に尽力。ロックをこよなく愛する。顔は怖い、心はやさしい52歳。</p> <p>企業情報 住所/松山市北梅本町1624-1 TEL/089-975-6985 FAX/089-975-7946 業種/介護・福祉 従業員数/167名</p>	

〇〇 CheckPoint

- 1 職員が主体者のボトムアップ経営
4つの委員会制度で施設運営のすべてが決まる
- 2 事業所内託児所で子育てを全面支援
子どもとお年寄りが共存する空間は松山No.1
- 3 独自のキャリアアップ制度で成長実感
「梅星」の社内検定によりレベルアップ



column 愛媛の自然を守りながら
愛媛の女性のライフワークを応援する

「ココロとカラダを整えること」は、リーダーとして大切だと考え、定期的なパーソナルトレーニングや自然療の上手な摂取に気を使っています。またNPO法人 由良野の森の活動に賛同。「持続可能な自然と人の共生」を実現すべく、ブナの植樹をはじめ、自然との共存・共生を自ら体感。自分らしいライフワークを実現しようとする女性に自らの体験を伝えていくことが、私の役目だと思っています。

「やってみたい」を引き出してくれる

当社は27名中26名が子育て中。働きながら家事・育児を頑張るスタッフの「やってみたい」を全力で応援してくれます。「自分らしく働きたい」はもちろん、スタッフが人生を楽しみ、より輝けるように尽力してくださり、包容力と行動力で支えてくれる頼もしい社長です。



【推薦者】 エルパティオ保育園 人事・労務リーダー 五井 絵里子

「お互い様」が笑顔を生む働き方
子育て中のママが多い職場のため、仲間を思いやる「お互い様」精神を大切にしています。その具休策として、希望勤務時間等を細かく聞き取り、個人に合わせたシフトを作成。学校・幼稚園、地域の行事で休暇申請があったときは、希望に沿えるようシフトを再度見直しています。また子どもへの発熱等があったときは、すぐに退社できるよう代わりに出社できる社員を手配。柔軟

な対応により、平均出社時間は7時間、産休からの復職もスムーズに行えています。
風通しの良さが良き職場環境を創る
仕事はもちろん、家族やプライベートのこともなるべく共有できる風土創りを心がけています。日々の朝礼・終礼で情報共有と意見交換の場を設けるほか、相談役の社員が定期的に個別ミーティングを実施。密なコミュニケーションを大切にしています。



column 地域福祉貢献こそが
私たち法人の存在価値であり意義

26年目を迎える私たちは、開設前より地域の皆様から多大なご支援とご協力をいただいています。そのご恩に少しでも報いること、地域の伝統や文化、教育にもお手伝いさせていただくことで、小野地区がさらに住みやすく、安心して子どもを育てることができればとても幸せです。職員はそのことを十分理解し、年間様々な地域行事にも率先して協力してくれています。職員に感謝です。

他にはいない、自慢のボス！

部下の性格や特性を把握し、的確なタイミングでアドバイスをしてくれます。敵しいところもありますが、あくまで人として正しいか否かで判断し、部下の迷いを断ち切ってくれます。面倒見も良く、事務職員の誕生日には必ずケーキをプレゼントしてくれる、やさしいボスです。



【推薦者】 高齢者総合福祉施設 梅本の里 副施設長 野本 浩二

お互いの存在が肯定される「ごちゃませ福祉」を実現
高齢者も乳幼児・児童、学生も障がいのある人も外国の方も、すべてを包含した「ごちゃませ福祉」を推進。支援する側とされる側の区別が無く、お互いに頼ったり頼られたりして、それぞれの存在が肯定される「居心地の良い場所」の実現を目指しています。その中で、デイサービス併設の事業所内託児所を開設。15名が育児休暇を取得後、全員が復職しました。地域活動への参加

も奨励するなど、全職員が生きがいをもって業務を担えるよう、仕事・生活の両面からサポートしています。
中・長期経営計画書で10年後の未来を可視化
令和10年の介護環境や、松山市が考える重要課題に対応しつつ、私たちが取り組む10年後の未来デザインを示唆する「中・長期経営計画書」を策定。将来のビジョンを描くことで、職員のモチベーションがアップしています。

